

2. 教科に関する調査の結果

(1) 国語

○調査問題の趣旨・内容

国語A－ 基礎的・基本的な言動活動や言語事項に関する知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題。

- (例) ■ ローマ字で表記された単語を読んだり、ローマ字で書いたりする。
■ 実験報告文の内容に適した小見出しをとらえる。
■ 主人公の行動や心情を描写した文章の一部を読み、表現の工夫をとらえる。
■ 話し合いにおける司会者の進め方の良いところを説明する。

国語B－ 基礎的・基本的な言語活動や言語事項に関する知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題。

- (例) ■ 報告文に必要な事柄をメモに整理したり、調べて分かったことを書いたりする。
■ 話し手の立場や意図をとらえたり、自分の立場を明確にして発表したりする。
■ 説明的な文章の一部を読み、筆者の表現の工夫や考えをとらえる。
■ 話の組立てを工夫しながら、図を使って説明する。

○課題等

話すこと・聞くこと

- ◆(B) 自分の立場や意図を明確にして話し合うことに課題がある。〔B 2〕二
- ◆(B) 話の組立てを工夫しながら、図を使って説明することに課題がある。〔B 4〕二

書くこと

- ◇(A) 文章の内容に合わせて小見出しをとらえることは、相当数の児童ができている。〔A 4〕
- ◆(B) 報告文に必要な事柄を整理したり、事象や意見などを関係付けながら書いたりすることに課題がある。〔B 1〕

読むこと

- ◆(A) 主人公の行動や心情を描写した文章の表現の工夫をとらえることに課題がある。〔A 5〕
- ◆(B) 筆者の表現の工夫や考えをとらえることに課題がある。〔B 3〕

言語事項

- ◇(A) 今回出題した漢字の読みと書きについては、相当数の児童ができている。〔A 1〕
- ◆(A) ローマ字を正しく読んだり、書いたりすることに課題がある。〔A 2〕
- ◆(A) 接続語を使って一文を二文に分けて書くことに課題がある。〔A 8〕
- ◆(A) 毛筆の下書きについて書き直す内容を説明することに課題がある。〔A 9〕

◇…相当数の児童ができている点 ◆…課題のある点 ()内の記号は、A…国語A、B…国語B
〔 〕内の記号は、問題番号

○指導改善のポイント

話すこと・聞くこと

- 目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら話す指導の充実
 - ・ 自分の立場を明確にし、事実と感想、意見などを区別しながら説明したり、報告したりする言語活動を充実することが大切である。
 - ・ 説明や報告をするときには、図表やグラフ、映像や実物などの資料を提示しながら事柄の相互の関係を整理して話したり、それらを聞いて助言や提案などをしたりする言語活動を充実することが大切である。

書くこと

- 目的や意図に応じて、書く事柄を収集・整理し、事実と感想、意見などを区別しながら書く指導の充実
 - ・ 報告文などを記述する前段階においては、必要な事柄についてメモを使って収集したり、構成表を用いて整理したりする言語活動を充実することが大切である。
 - ・ 調査報告文などを記述するときは、調べる目的や理由、調べる内容や結果、まとめなどを明確にし、それらを関係付けながら文章全体として首尾一貫したものになるように指導を充実することが大切である。

読むこと

- 目的や意図に応じて、表現の仕方に注意しながら文章の内容を的確に押さえて読んだり、自分の考えを明確にして読んだりする指導の充実
 - ・ 読んだ本や文章を説明したり紹介したりするなどの目的をもち、登場人物の行動や性格、場面についての描写など表現の工夫に着目して想像を豊かにしながら読む指導を充実することが大切である。
 - ・ 筆者がどのような事実を取り上げ、理由や根拠を示し、感想や意見、判断や主張などを行い、読み手をどのように説得したり論証したりしているかなどを理解し解釈する指導が大切である。さらに、筆者の意図や思考を想定しながら、筆者が文章全体をどのように構成し表現しているかを把握した上で、自分の考えを明確にしていくように指導を充実することが大切である。

言語事項

- ローマ字を繰り返し読んだり、書いたりする指導の充実
 - ・ コンピュータを使った学習など関係付けて、ローマ字を繰り返し読んだり、書いたりする機会を増やすような指導を充実することが大切である。
- 文の構成や文と文とのつながりを確かめて話したり書いたりする指導の充実
 - ・ 単文、重文、複文などの構造で書かれた文の内容を論理的に関係付けたり、長文になった一文を接続語を使って複数の文に分けたりする指導を充実することが大切である。
- 用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを整えて書く指導の充実
 - ・ 読み手への伝達効果を考えて、用紙全体との関係から、大きさ、行間、字間などを整え、文字を丁寧に書く指導を充実することが大切である。

【国語 A】

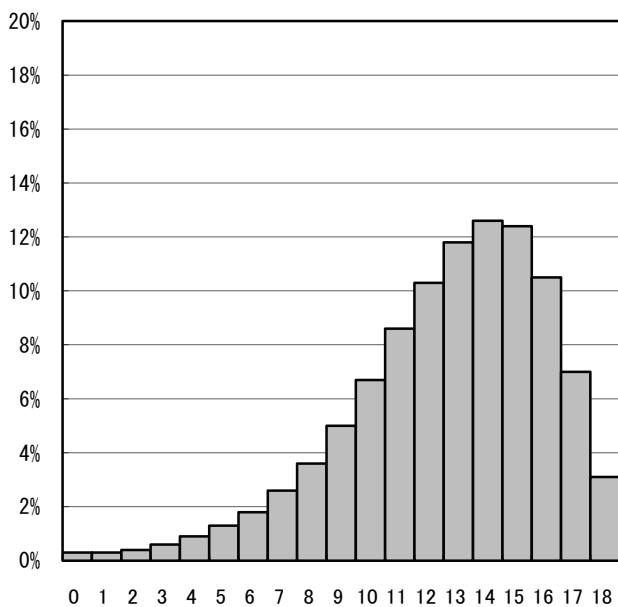
○正答数等の状況

・児童の正答数の分布は、右よりの単峰分布となっている。

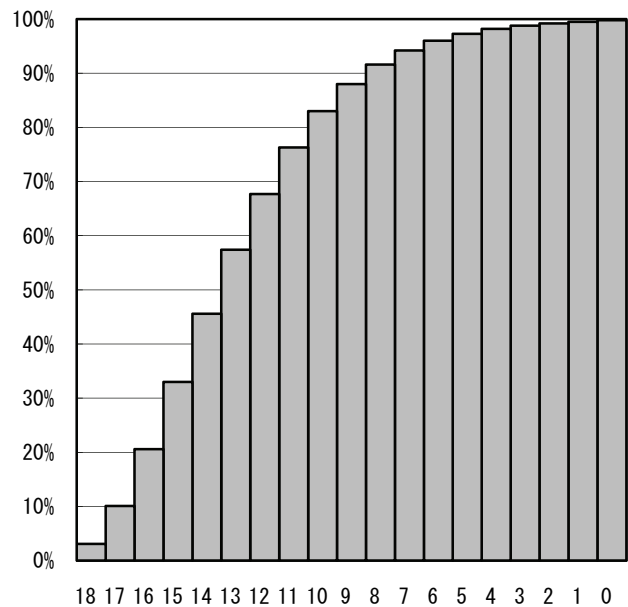
(問題数 18, 平均正答数 12.6, 中央値 13.0, 最頻値 14, 標準偏差 3.4)

児童数	平均正答数 (平均正答率)	中央値	標準偏差
1,150,061人	12.6問 / 18問 (70.1%)	13.0問	3.4

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:児童の割合)



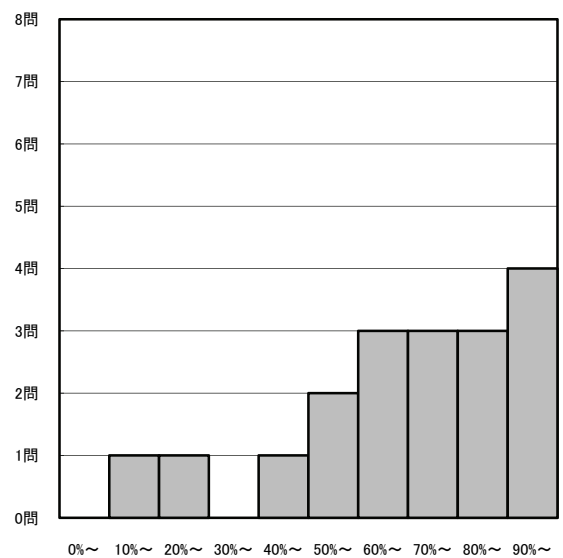
正答数累積グラフ(横軸:正答数, 縦軸:累積割合)



分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	1	68.2
	書くこと	4	85.5
	読むこと	2	68.8
	言語事項	12	64.4
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	1	68.2
	話す・聞く能力	1	68.2
	書く能力	4	85.5
	読む能力	2	68.8
	言語についての知識・理解・技能	12	64.4
問題形式	選択式	5	80.2
	短答式	12	66.0
	記述式	1	68.2

正答率別問題数(横軸:正答率, 縦軸:設問数)



設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			正答率 (%)	無解答率 (%)
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式		
1ー(1)	漢字を読む(駅は混雑している)	学年別漢字配当表の当該学年の前の学年までに配当されている漢字を正しく読む				○				○		○		95.2	2.1
1ー(2)	漢字を読む(春から夏へ季節が移る)					○				○		○		91.2	1.7
1ー(3)	漢字を読む(めずらしい植物を採集する)					○				○		○		80.1	2.7
1二(1)	漢字を書く(びょういんに行く)	学年別漢字配当表の当該学年の前の学年までに配当されている漢字を正しく書く				○				○		○		76.3	5.8
1二(2)	漢字を書く(人の意見にさんせいする)					○				○		○		78.4	8.7
1二(3)	漢字を書く(重い石をはこぶ)					○				○		○		80.7	10.0
2_1	ローマ字で書く(くすり)	ひらがなで表記されたものをローマ字で書く				○				○		○		69.5	11.7
2_2	ローマ字で書く(たべもの)					○				○		○		45.8	19.1
2_3	ローマ字を読む(happa)	ローマ字で表記されたものを正しく読む				○				○		○		52.2	29.1
3	はがきの表書きに必要な事柄を選択する	はがきの表書きに必要な事柄の順序を考えて書く		○						○		○		67.1	0.3
4ア	実験報告文の小見出しとして適切なものを選択する	文章の内容に合わせて、小見出しを書く		○						○		○		86.2	0.8
4イ				○						○		○		94.8	0.8
4ウ				○							○		○		93.9
5	文章の表現の工夫を説明したものとして適切なものを選択する	文学的な文章の表現の工夫をとらえる			○	○				○	○	○		58.8	0.7
6	図鑑を読んで必要な内容をとらえる	段落の内容を的確にとらえる			○					○		○		78.8	4.9
7	司会の進め方の良いところを説明する	司会の役割や働きをとらえて、話し合いを計画的に進める	○					○	○				○	68.2	15.1
8	接続語を使って一文を二文に分けて書く	文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く				○				○		○		15.0	29.9
9	毛筆の下書きについて書き直す内容を書く	文字の大きさや配列に注意して書く				○				○		○		29.2	33.1

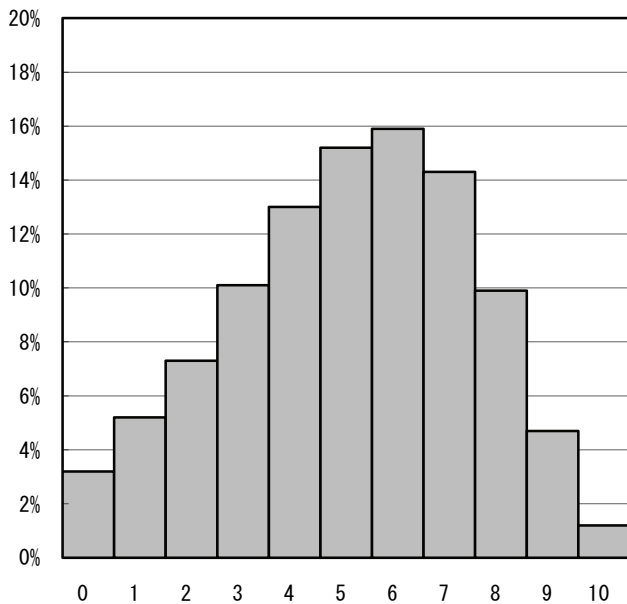
【国語B】

○正答数等の状況

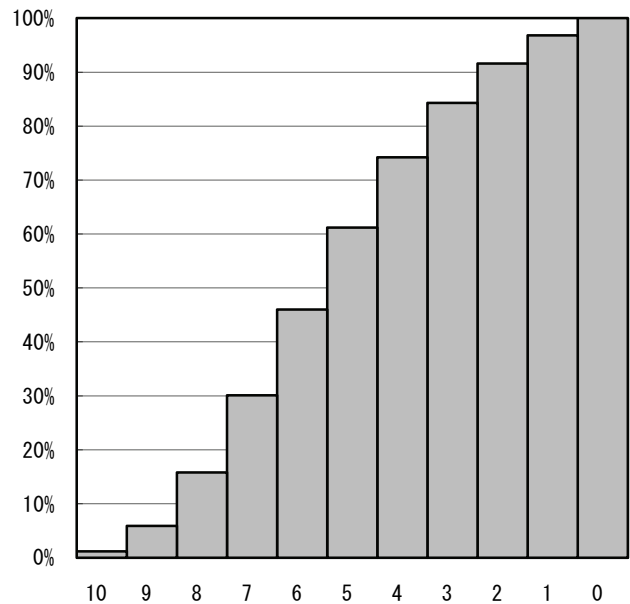
- ・ 児童の正答数の分布は、単峰分布となっている。
(問題数 10, 平均正答数 5.1, 中央値 5.0, 最頻値 6, 標準偏差 2.4)
- ・ 記述式問題の平均無解答率は、13.5% (最小 11.6%, 最大 16.3%) である。

児童数	平均正答数 (平均正答率)	中央値	標準偏差
1,149,850人	5.1問 / 10問 (50.7%)	5.0問	2.4

正答数分布グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 児童の割合)



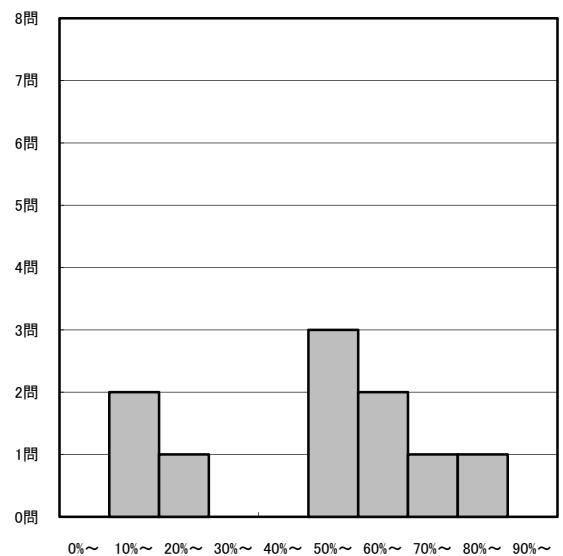
正答数累積グラフ (横軸: 正答数, 縦軸: 累積割合)



分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	5	61.5
	書くこと	2	14.7
	読むこと	3	56.8
	言語事項	2	59.8
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	6	46.2
	話す・聞く能力	5	61.5
	書く能力	2	14.7
	読む能力	3	56.8
	言語についての知識・理解・技能	2	59.8
問題形式	選択式	2	66.0
	短答式	2	48.9
	記述式	6	46.2

正答率別問題数 (横軸: 正答率, 縦軸: 設問数)



設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				問題形式			正答率 (%)	無解答率 (%)		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式			記述式	
1ー	報告文を読み、メモの中に調べた内容の1つめを書く	調べる内容を見通して、必要な事柄を整理する		○									○			11.5	20.7
1二	報告文のまとめとして、調べて分かったことを書く	目的や意図に応じて、事象や意見などを関係付けながら書く		○			○							○		17.8	12.5
2ー	話し合いの中で出された意見を二つの立場に分ける	話し手の立場や意図をとらえて聞く	○					○					○			75.6	3.0
2二	「そうじや整とんによく取り組んでいる」とする立場から自分の考えを発表する	自分の立場や意図を明確にして話し合う	○				○	○						○		25.9	11.6
3ー	説明文の冒頭部分を読んで、書き方の工夫として適切な内容を選択する	筆者の表現の工夫に着目して読む			○					○			○			56.3	8.8
3二(1)	筆者の考えを自分の言葉で書き換えたり要約したりして書く	目的や意図に応じて、自分の考えをまとめる			○		○			○				○		62.8	11.6
3二(2)					○		○			○				○		51.1	16.3
4ー	作戦カードをもとに、ボールを渡す順番を整理する	目的や意図が伝わるように必要な情報を取り出す	○					○						○		86.2	6.9
4ニア	作戦カードをもとに、チームの攻め方を説明する	目的や意図が伝わるように話の組立てを工夫しながら説明する	○			○	○	○			○			○		57.5	13.3
4ニイ			○			○	○	○			○			○		62.2	15.7

(2) 算数

○調査問題の趣旨・内容

算数Aー 数量や図形についての基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかどうかをみる問題

- (例) ■ 整数, 小数, 分数の四則計算をする。
■ 長さの見当を付ける。
■ 四角形の四つの内角の大きさの和を求める式を書く。
■ 資料を分類整理して, 表を用いて表す。

算数Bー 数量や図形についての基礎的・基本的な知識・技能を活用することができるかどうかをみる問題

- (例) ■ 示された解決方法を理解し, 見方を変えた解決方法を考えて記述する。
■ 筋道を立てて考え, 条件に合う時刻を選ぶ。
■ カードの敷き詰め方をかき, きまりを見いだして, 例をつくる。
■ 示されたグラフの特徴を理解して割合の大小を判断し, その理由を記述する。

○課題等

数と計算

- ◇(A) 整数, 小数, 分数の四則計算は, 相当数の児童ができています。〔A 1〕(1)~(5)〕
◆(A) 数直線から数を読み取ることに課題がある。〔A 2〕(1)〕
◆(B) 情報を整理選択し, 筋道を立てて考え, 示された判断が正しい理由を記述することに課題がある。〔B 3〕(3)〕

量と測定

- ◇(A) 長さについての感覚を身に付けることは, 相当数の児童ができています。〔A 3〕〕
◆(A) 示された方眼を基にして三角形の面積を求めることに課題がある。〔A 6〕〕
◆(B) 与えられた条件に合う時刻を, 筋道を立てて考え, 時刻表から選択することに課題がある。〔B 3〕(1)〕

図形

- ◇(A) 平行四辺形の向かい合う辺の長さが等しいという性質は, 相当数の児童が理解できています。〔A 5〕(3)〕
◆(B) 円の半径の求め方として示された解決方法を理解し, 見方を変えた別の解決方法を考え, それを記述することに課題がある。〔B 1〕(3)〕
◆(B) 事象を観察して図形を見だし, 示された部分の長さを求めるために必要な情報を選択し, 求め方を式に表すことに課題がある。〔B 1〕(1)〕

数量関係

- ◆(AB) 百分率を求めることや, 基準量と比較量を基にして, 割合の大小を判断し, その理由を記述することに課題がある。〔A 7〕, B 5〕(3)〕
◆(A) 減法と除法の混合した整数の計算をすることに課題がある。〔A 1〕(6)〕

◇…相当数の児童ができています点 ◆…課題のある点 ()内の記号は, A…算数A, B…算数B
〔 〕内の記号は, 問題番号

○指導改善のポイント

数と計算

- 一目盛りの大きさに着目して数直線から数を読み取る活動の充実
 - ・ 一目盛りの大きさが様々な数直線から数を読み取ったり，一目盛りの大きさを自由に決めて数を読み取ったりする活動の充実を図ることが大切である。そのような活動を通して，一目盛りの大きさのとり方によって数直線上に様々な数を位置付けられることを実感できるようにすることが必要である。
- 必要な情報を整理したり選択したりして，判断の正しさを説明する活動の充実
 - ・ 判断の正しさを説明する場面を設定し，何を述べる必要があるかを考えたり，不十分な説明を適切な説明に改善したりする活動の充実を図ることが大切である。

量と測定

- 三角形の底辺や高さを理解し，面積を求めるために必要な長さを測定する活動の充実
 - ・ 辺の長さを示さずに図形を提示して，面積を求めるためにどの部分の長さが必要かを考えたり，その長さを測定したりする活動の充実を図ることが大切である。
- 問題場面の情報を整理し，必要な条件を考慮して，筋道を立てて考える活動の充実
 - ・ 問題場面の情報を整理して図に表したり，解決に必要な条件を書き出したりする活動の充実を図ることが大切である。答えを求めた後に条件と照らし合わせたり，条件に合うものが他にないかを確認したりする活動を取り入れることも必要である。

図形

- 他者の解決方法を基に，見方を変えて新しい解決方法を考え，説明する活動の充実
 - ・ いろいろな考え方や解決方法を発表し合う場を設定し，他者の発言や記述の内容を基に考え方などを理解したり，自分の考え方を分かりやすく説明したりできるようにする活動の充実を図ることが大切である。
- 身の回りの事象を観察して図形を見だし，問題解決に必要な情報を選択する活動の充実
 - ・ 学習した図形を身の回りから見いだす活動や，見いだした図形のどの情報を用いれば問題を解決できるかを考える活動の充実を図ることが大切である。

数量関係

- 百分率の意味や割合の考えを理解できるようにする指導の重視
 - ・ 問題場面から基準量と比較量をとらえたり，基準量を100として比較量が幾つになるかを考えて割合をとらえたりする活動の充実を図ることが大切である。
 - ・ 割合の大小を判断する問題を扱い，計算して割合を求めたり，数直線で割合を表したり，円グラフなどをかいたりする活動を取り入れて，基準量と比較量の両方に着目して割合を考えられるようにする指導を重視することが大切である。
- 計算の順序についてのきまりを基にして計算の過程を説明する活動の充実
 - ・ 乗法・除法を加法・減法より先に計算するという計算の順序についてのきまりは，いろいろな場面をとらえて指導し，確実に理解できるようにする指導が大切である。四則の混合した様々な計算をする機会を設け，計算のきまりを基にして計算過程を説明する活動の充実を図ることが大切である。

【算数A】

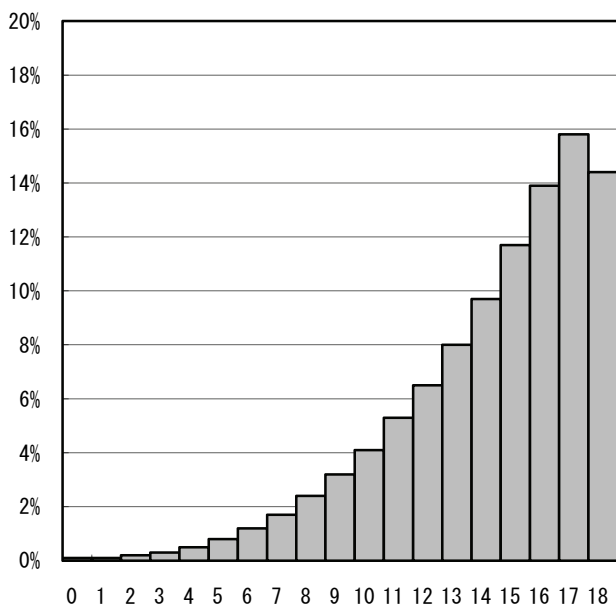
○正答数等の状況

・児童の正答数の分布は、右よりの単峰分布となっている。

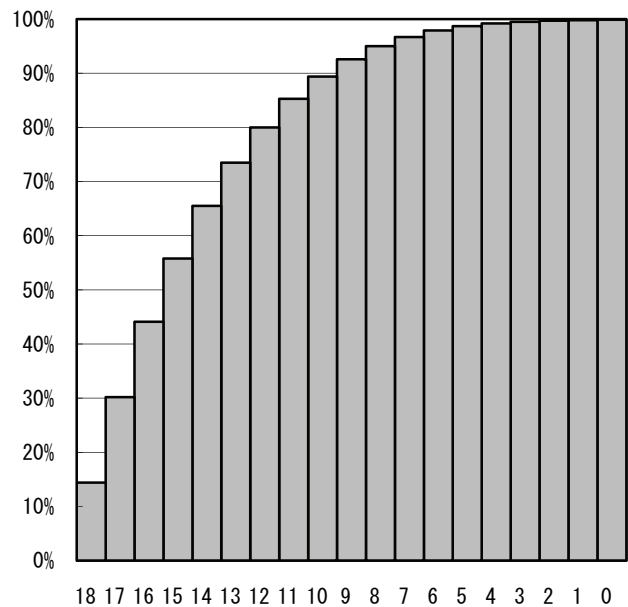
(問題数 18, 平均正答数 14.2, 中央値 15.0, 最頻値 17, 標準偏差 3.4)

児童数	平均正答数 (平均正答率)	中央値	標準偏差
1,150,097人	14.2問 / 18問 (78.8%)	15.0問	3.4

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:児童の割合)



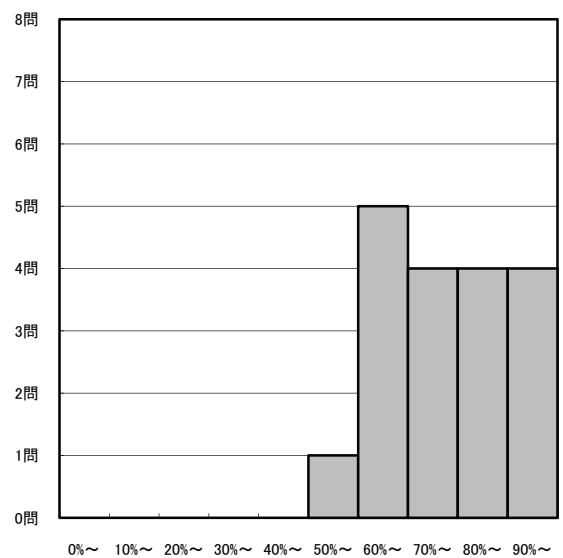
正答数累積グラフ(横軸:正答数, 縦軸:累積割合)



分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
学習指導要領の領域	数と計算	9	82.8
	量と測定	3	78.6
	図形	3	81.5
	数量関係	3	64.4
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0	
	数学的な考え方	0	
	数量や図形についての表現・処理	12	77.8
	数量や図形についての知識・理解	6	80.9
問題形式	選択式	5	76.8
	短答式	13	79.6
	記述式	0	

正答率別問題数(横軸:正答率, 縦軸:設問数)



設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			正答率 (%)	無解答率 (%)
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての表現・処理	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式		
1 (1)	153+49 を計算する	繰り上がりのある加法の計算をすることができる	○					○				○		95.1	0.1
1 (2)	725×8 を計算する	整数の乗法の計算をすることができる	○					○				○		85.7	0.5
1 (3)	204÷4 を計算する	整数の除法の計算をすることができる	○					○				○		95.4	1.0
1 (4)	48.1÷1.3 を計算する	小数の除法の計算をすることができる	○					○				○		80.5	3.8
1 (5)	7/6-2/6 を計算する	同分母の分数の減法の計算をすることができる	○					○				○		97.8	0.3
1 (6)	80-30÷5 を計算する	減法と除法の混合した整数の計算をすることができる				○		○				○		67.0	1.3
2 (1)	数直線上に示された1万より大きい数を読み取る	数直線から数を読み取ることができる	○					○				○		64.3	0.6
2 (2)	100を45個集めた数を書く	数の構成について理解している	○						○			○		73.5	0.7
2 (3)	74291を四捨五入して、千の位までの概数で表したものを選ぶ	数を四捨五入して、概数で表すことができる	○					○		○				75.9	0.8
2 (4)	整数の中から偶数を選ぶ	偶数の意味について理解している	○						○	○				77.5	1.1
3	千円札を長方形とみると、長い方の辺はどれくらいの長さか選ぶ	長さについての感覚を身に付けている		○					○	○				89.9	0.4
4	90度より大きい角の大きさを測定する場面で、分度器の目盛りを読む	角の大きさを測定する場面で、分度器の目盛りを読むことができる		○					○			○		78.9	0.4
5 (1)	四角形を1本の対角線で2つの三角形に分けたときの、四角形の4つの角の大きさの和を求める式を書く	四角形の4つの角の大きさの和の求め方を理解している			○				○		○			68.1	10.3
5 (2)	長方形を1本の対角線で切ったときにできる図形の名前を選ぶ	長方形、直角三角形の定義や性質について理解している			○				○	○				83.5	1.4
5 (3)	平行四辺形の2つの辺の長さが10cm, 8cmのとき、指示された辺の長さを答える	平行四辺形の向かい合う辺の長さが等しいという性質を理解している			○				○		○			92.7	1.6
6	方眼上の三角形の面積を求める式を書く	三角形の面積を求めることができる		○					○			○		67.1	7.9
7	200人のうち80人が女子のとき、女子の人数の割合は全体の何%か選ぶ	百分率を求めることができる				○			○		○			57.1	1.5
8	表に当てはまる資料の個数を答える	資料を2つの観点から分類整理し、表を用いて表すことができる				○			○			○		69.0	3.6

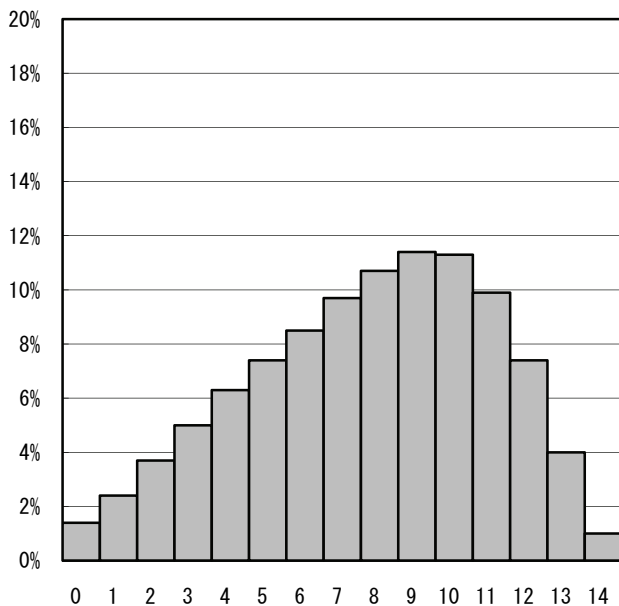
【算数B】

○正答数等の状況

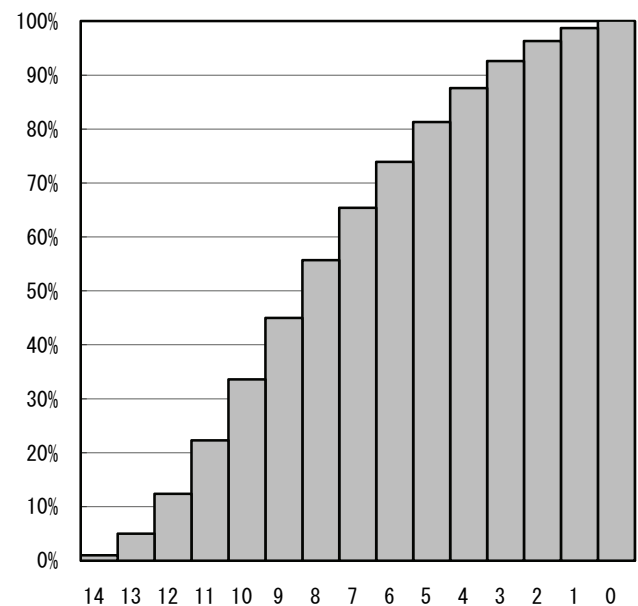
- ・ 児童の正答数の分布は、右よりの単峰分布となっている。
（問題数 14, 平均正答数 7.7, 中央値 8.0, 最頻値 9, 標準偏差 3.3）
- ・ 記述式問題の平均無解答率は、9.2%（最小 5.7%, 最大 17.4%）である。

児童数	平均正答数 (平均正答率)	中央値	標準偏差
1,149,876人	7.7問 / 14問 (55.0%)	8.0問	3.3

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:児童の割合)



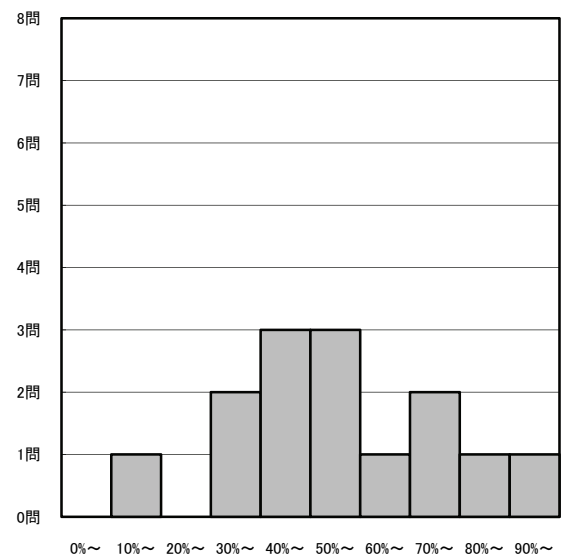
正答数累積グラフ(横軸:正答数, 縦軸:累積割合)



分類・区分別集計結果

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
学習指導要領の領域	数と計算	6	56.0
	量と測定	6	60.1
	図形	4	56.6
	数量関係	4	57.0
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0	
	数学的な考え方	10	46.3
	数量や図形についての表現・処理	4	76.6
	数量や図形についての知識・理解	0	
問題形式	選択式	2	69.1
	短答式	7	63.8
	記述式	5	36.9

正答率別問題数(横軸:正答率, 縦軸:設問数)



設問別集計結果

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			正答率 (%)	無解答率 (%)	
			数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての表現・処理	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式			記述式
1 (1)	壁の高さを階段を使って調べるために必要な情報を選び、求める式を書く	図形を見だし、長さを求めるために必要な情報を選択し、求め方を式に表すことができる	○		○			○			○			51.3	2.3
1 (2)	示された高い場所の長さを直接測らなくても、別の場所の長さを測れば調べることができるわけとして正しい記述を選ぶ	示された部分の長さを直接測らなくても調べられる理由を、図形の性質を基に考えることができる				○				○				65.3	2.2
1 (3)	長方形の紙にかかれた6つの円の半径の求め方について、長方形の縦の長さを使った求め方を基に、横の長さを使った求め方を書く	示された解決方法を理解し、見方を変えた別の解決方法を考え、それを記述することができる				○						○		30.5	5.7
2 (1)	上皿てんびんで消しゴムと分銅がつり合っていることを基に、消しゴムの重さを求める	整数と小数の加法を用いて、重さを求めることができる	○	○							○			90.2	0.8
2 (2)	3つの実験を基に、黒の球の重さの範囲を書き、その範囲に当てはまる重さを選ぶ	実験を基に筋道を立てて考え、重さの範囲を記述し、当てはまる重さを選択することができる			○			○				○		45.9	6.2
3 (1)	目的の時刻までに着くバスの発車予定時刻を時刻表から選び、その時刻を書く	与えられた条件に合う時刻を、筋道を立てて考え、時刻表から選択することができる		○				○				○		40.0	6.4
3 (2)	船の入港数を表した棒グラフを見て、2005年の船の入港数が、最も多い年と比べて約何隻減少したのか答える	棒グラフから必要な数量を読み取り、差を概数で見積もることができる	○			○			○					54.9	6.2
3 (3)	2種類の品物を買うとき、与えられた条件では、ハンカチを買うともう1種類の品物が買えないわけを書く	情報を整理選択し、筋道を立てて考え、示された判断が正しい理由を記述することができる	○					○				○		33.8	9.1
4 (1)	縦4cm、横5cmの長方形の板に縦2cm、横1cmの長方形のカードを敷き詰める図を2通りかき、必要なカードの枚数を書く	カードの敷き詰め方を2通りかき、必要なカードの枚数を求めることができる		○	○				○			○		79.2	2.5
4 (2)	縦5cm、横7cmの長方形の板に縦2cm、横1cmの長方形のカードを敷き詰められないと判断するための考えを書く	示された長方形の板にカードを敷き詰められないと判断する方法を記述することができる	○	○				○				○		56.3	17.4
4 (3)	縦2cm、横1cmの長方形のカードを敷き詰められない長方形の板を考え、その辺の長さを書く	調べた結果を振り返り、きまりを見だし、カードを敷き詰められない例をつくることができる	○	○				○				○		49.0	8.9
5 (1)	4月に集めたペットボトルの重さをグラフから読み取る	グラフから必要な数量を読み取ることができる				○			○			○		82.1	4.7
5 (2)	グラフを見て、集めた空き瓶の重さの変化についての正しい記述を選ぶ	グラフの特徴を基に、数量の変化の様子をとらえることができる				○					○			72.9	5.3
5 (3)	4月と6月の全体の重さを基にしたペットボトルの重さの割合の大小関係をとらえ、判断のわけを書く	基準量と比較量を基にして、割合の大小を判断し、その理由を記述することができる				○			○				○	17.9	7.5

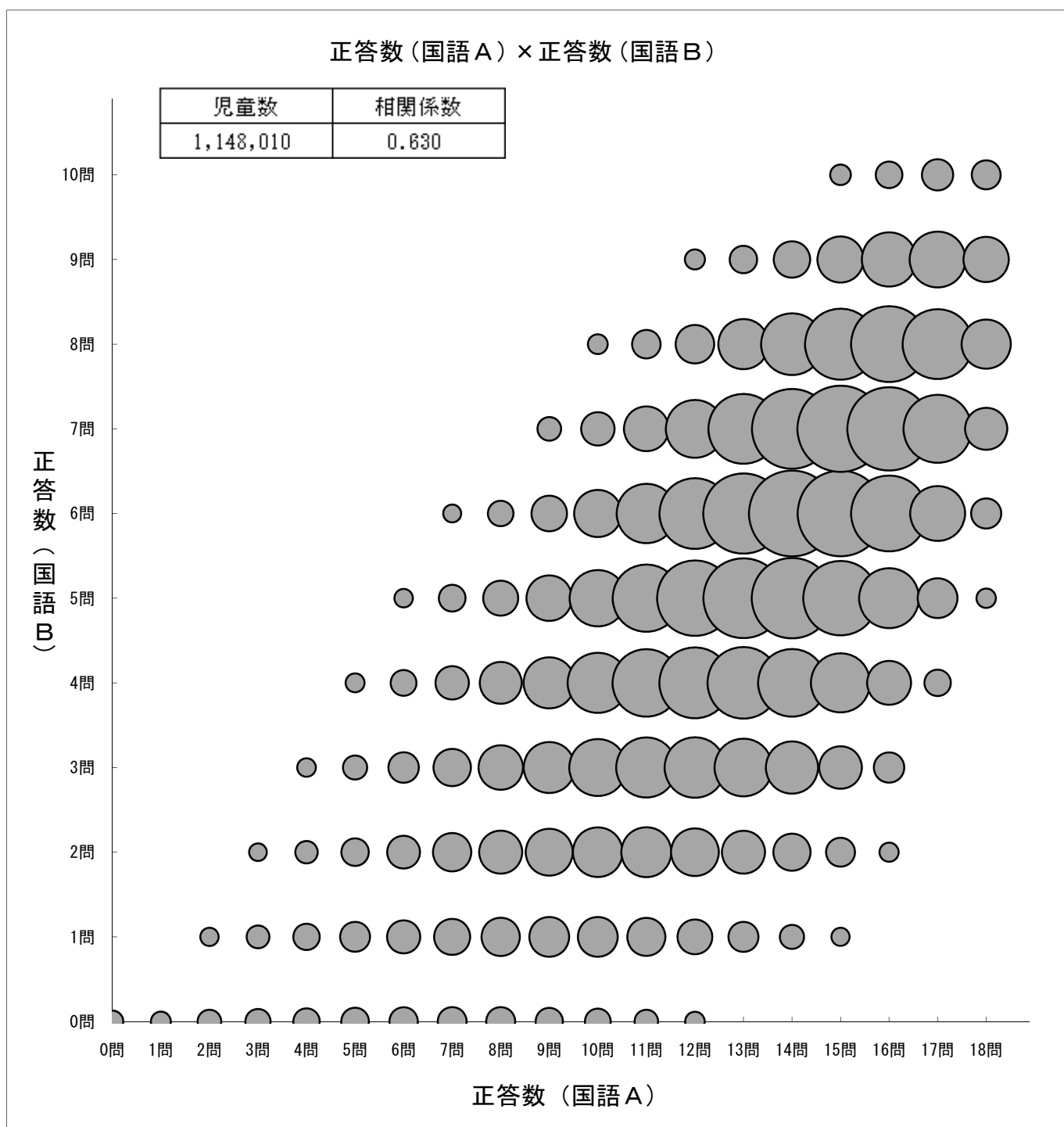
(3) 知識に関する調査と活用に関する調査の相関

■国語Aと国語Bの相関

- 国語B（活用）の正答数が多い児童は、国語A（知識）の正答数も多い。
- 国語A（知識）の正答数が多い児童は、国語B（活用）の正答数において広く分布している。

国語A（知識）の正答数、国語B（活用）の正答数、正答児童数の相関をバブルチャート^{*}に表示したものを。

※ バブルチャート：2軸の座標軸の上に、大きさが3軸目の指標を示す円状の図（バブル）を配置した図表。

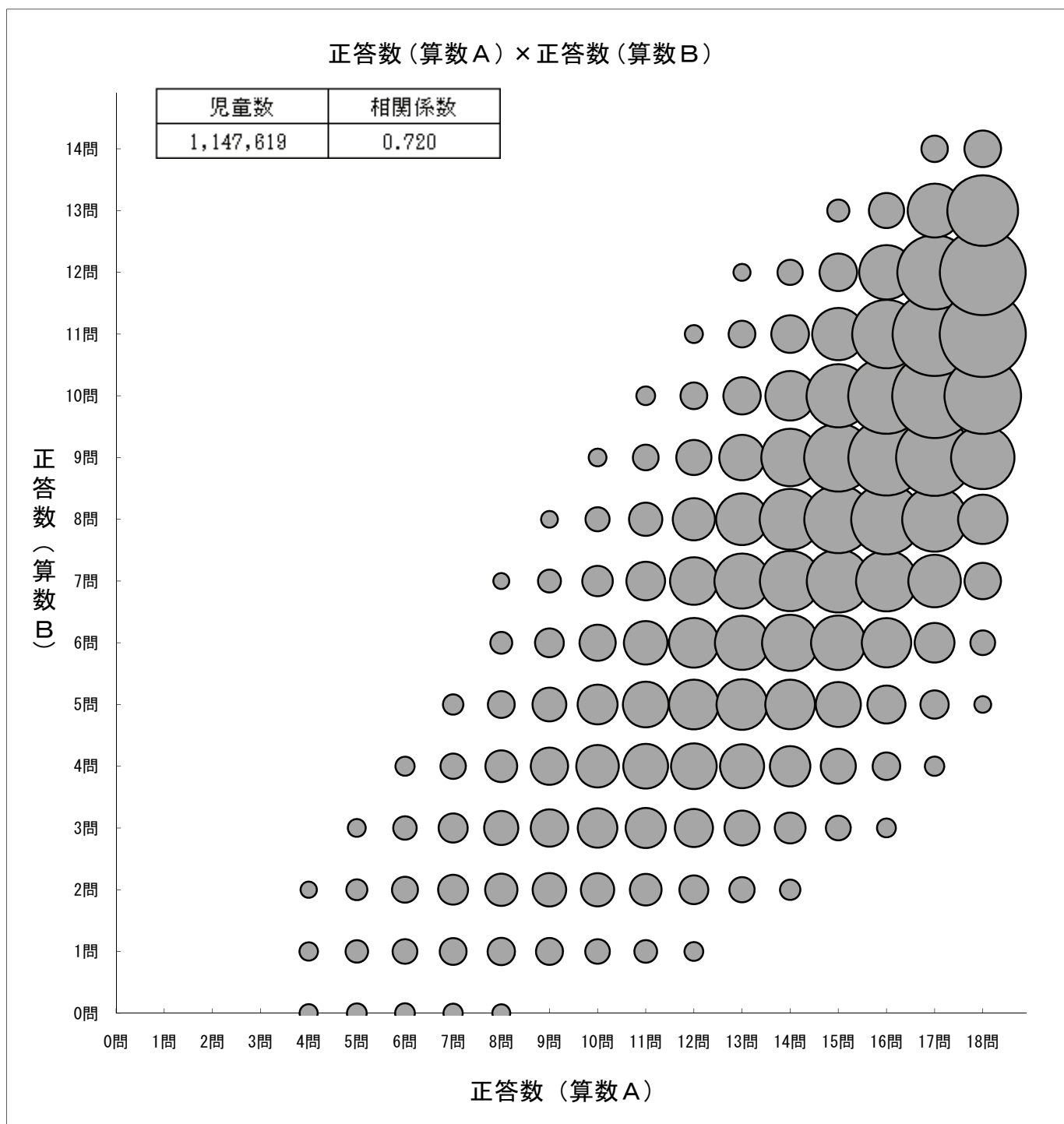


※0.1%以上のデータを表示

■算数Aと算数Bの相関

- 算数B（活用）の正答数が多い児童は、算数A（知識）の正答数も多い。
- 算数A（知識）の正答数が多い児童は、算数B（活用）の正答数において広く分布している。

算数A（知識）の正答数、算数B（活用）の正答数、正答児童数の相関をバブルチャートに表したものの。



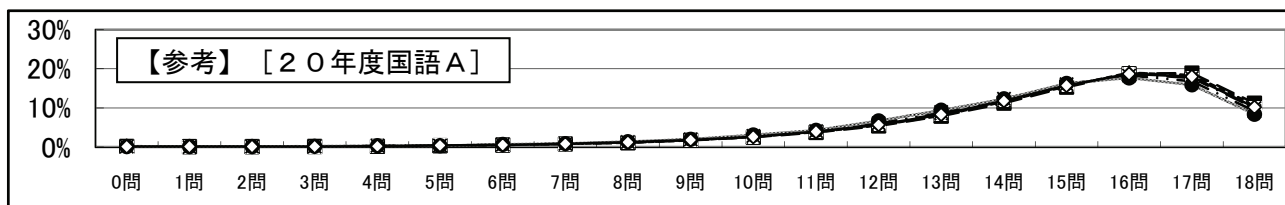
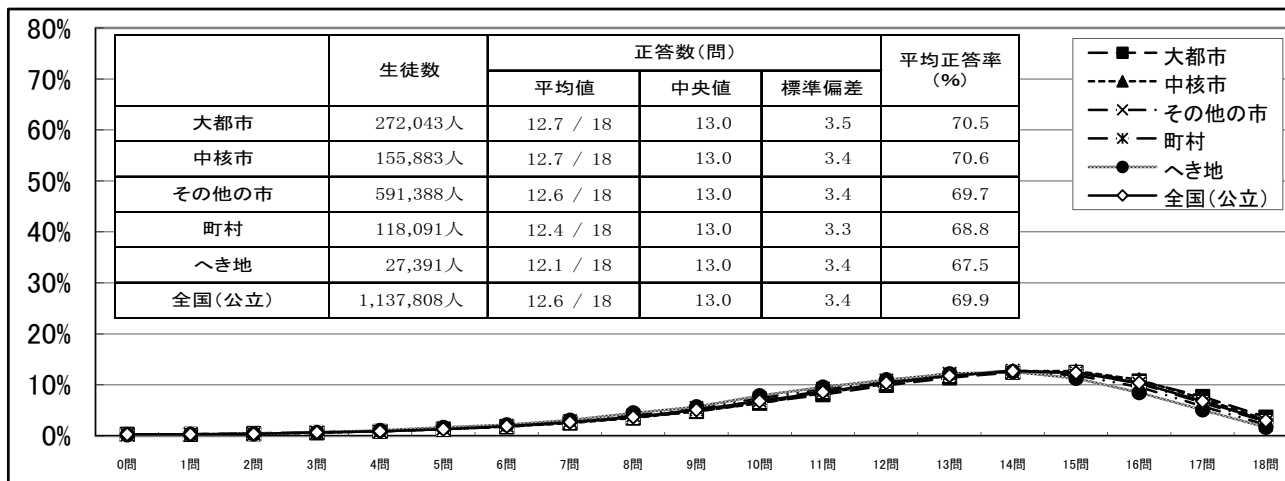
※0.1%以上のデータを表示

(4) 地域の規模等の状況

○ 平均正答数, 平均正答率, 中央値, 標準偏差を見ると, 20年度同様, 地域の規模等(公立: 大都市, 中核市, その他の市, 町村, へき地)による大きな差は見られない。

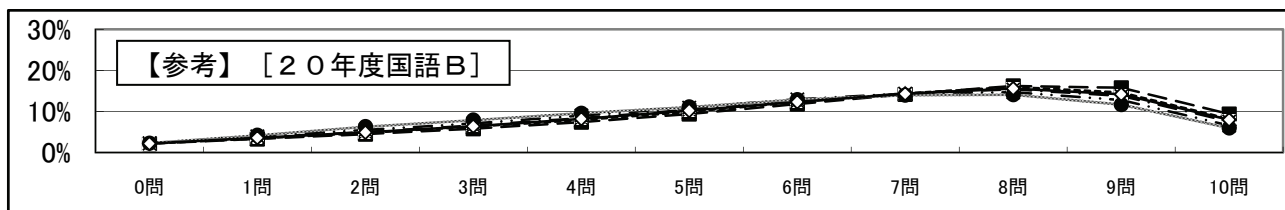
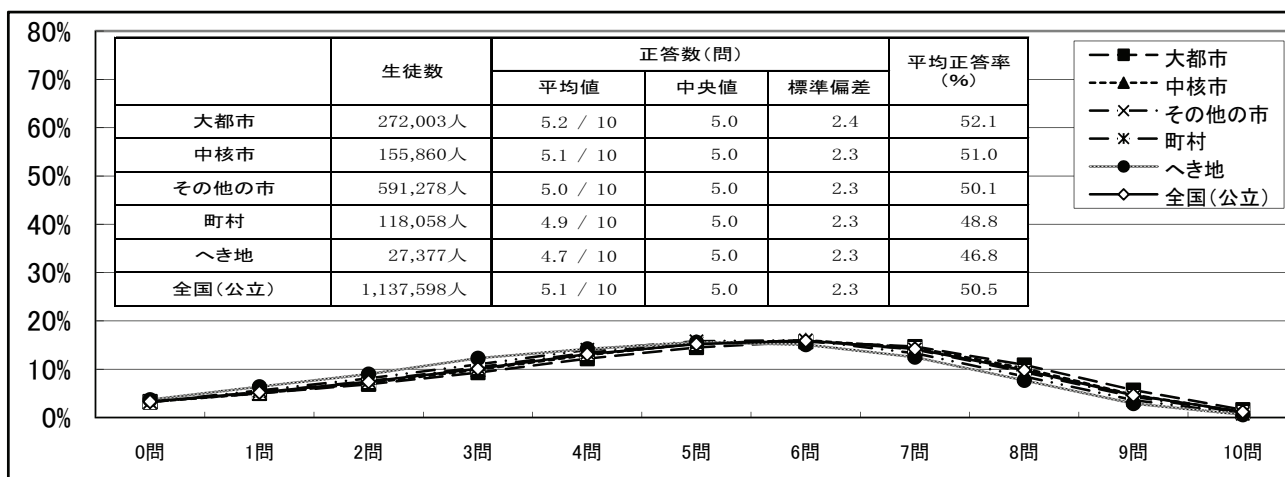
[国語A]

正答数分布グラフ(横軸: 正答数, 縦軸: 児童の割合)



[国語B]

正答数分布グラフ(横軸: 正答数, 縦軸: 児童の割合)

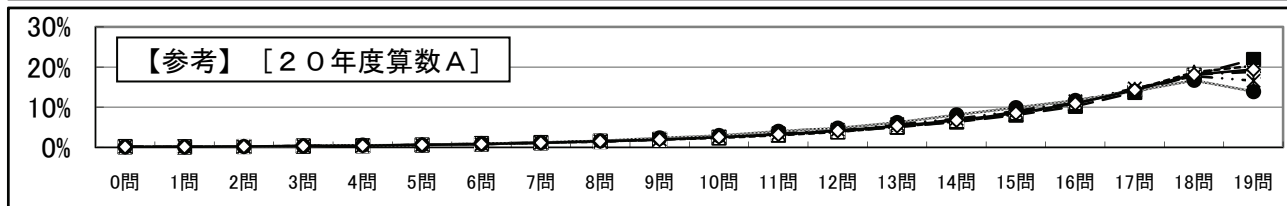
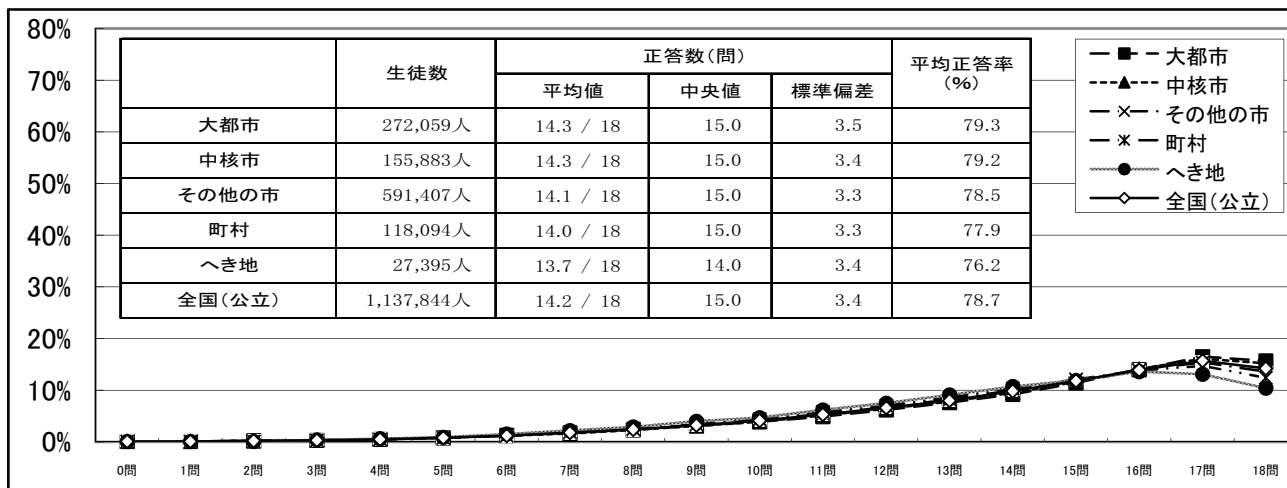


※大都市（政令指定都市及び東京23区）、中核市、その他の市、町村の値は、当該地方公共団体の教育委員会が設置管理する公立学校に在籍する児童の調査結果（正答数）を集計したものである（都道府県立学校は含まない）。

※へき地の値は、へき地教育振興法及び各都道府県の条例（規則）によって指定された学校に在籍する児童の調査結果を集計したものである。大都市、中核市、その他の市、町村の値に重複する。

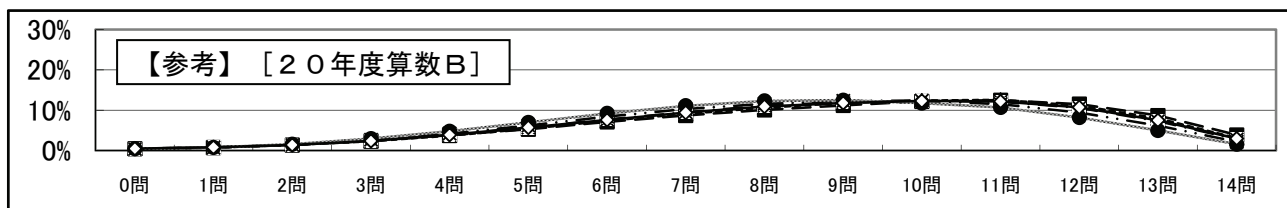
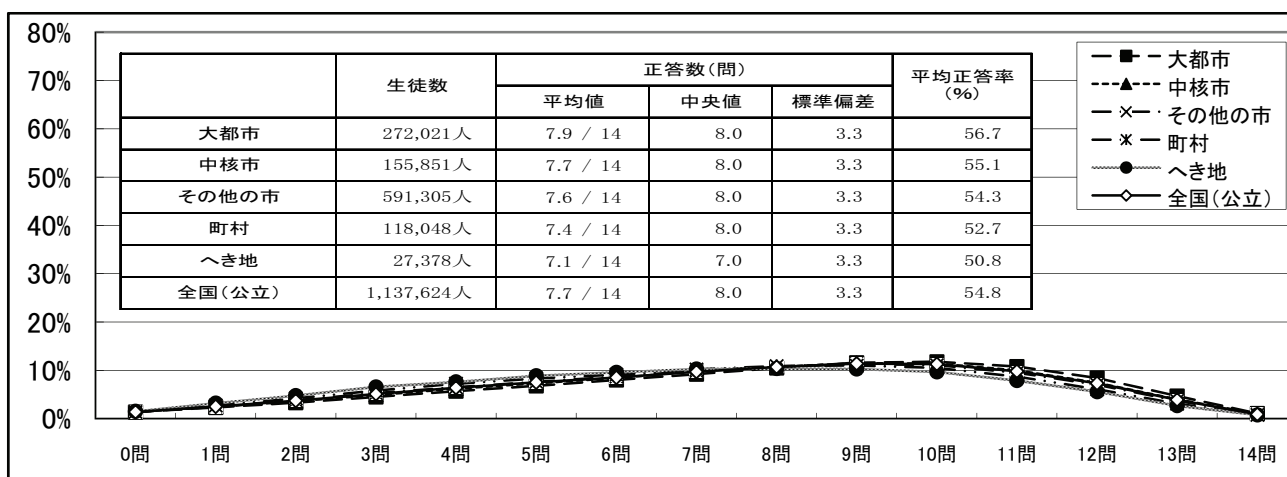
[算数A]

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:児童の割合)



[算数B]

正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:児童の割合)

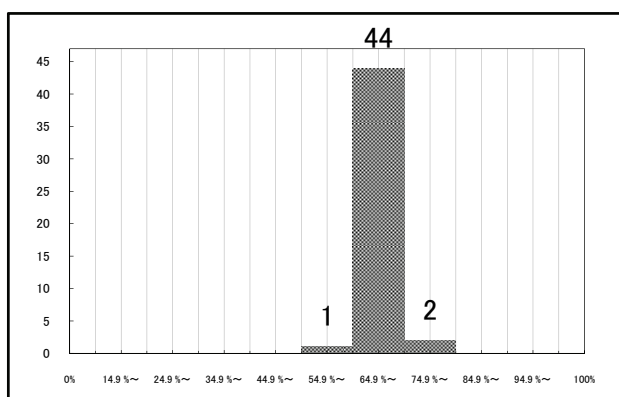


(5) 都道府県の状況

○ 各都道府県（公立）の状況については、平均正答率を見ると、20年度同様、ほとんどの都道府県が平均正答率の±5%の範囲内にあり、ばらつきが小さい。

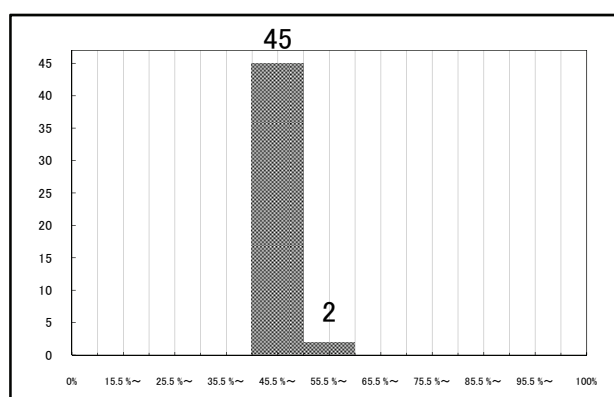
[国語A]

正答率分布グラフ(横軸:平均正答率,縦軸:都道府県数)



[国語B]

正答率分布グラフ(横軸:平均正答率,縦軸:都道府県数)

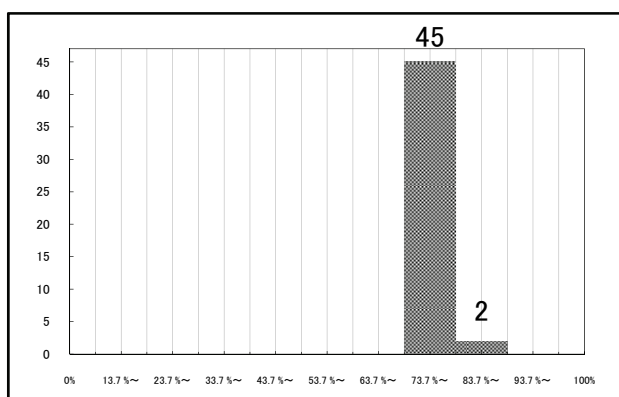


全国(公立)の平均正答率	47 都道府県(公立)中, 最高平均正答率 (全国との差)	47 都道府県(公立)中, 最低平均正答率 (全国との差)
69.9%	75.5% (+5.6%)	64.5% (-5.4%)

全国(公立)の平均正答率	47 都道府県(公立)中, 最高平均正答率 (全国との差)	47 都道府県(公立)中, 最低平均正答率 (全国との差)
50.5%	60.4% (+9.9%)	45.9% (-4.6%)

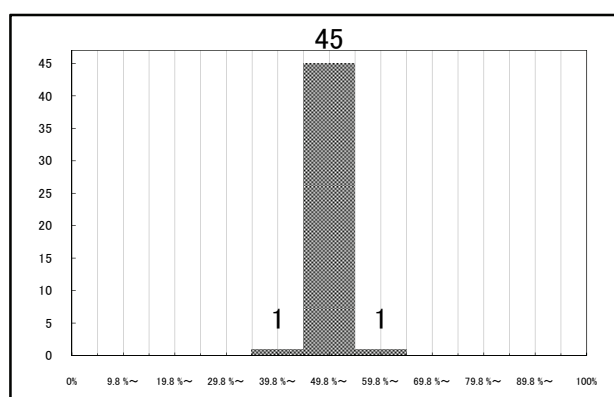
[算数A]

正答率分布グラフ(横軸:平均正答率,縦軸:都道府県数)



[算数B]

正答率分布グラフ(横軸:平均正答率,縦軸:都道府県数)



全国(公立)の平均正答率	47 都道府県(公立)中, 最高平均正答率 (全国との差)	47 都道府県(公立)中, 最低平均正答率 (全国との差)
78.7%	86.2% (+7.5%)	74.1% (-4.6%)

全国(公立)の平均正答率	47 都道府県(公立)中, 最高平均正答率 (全国との差)	47 都道府県(公立)中, 最低平均正答率 (全国との差)
54.8%	63.7% (+8.9%)	48.9% (-5.9%)

(6) 教育委員会の状況

○ 各教育委員会の状況については、全国平均からの離れ具合を表す平均正答率の標準偏差を見ると、大きなばらつきは見られない。

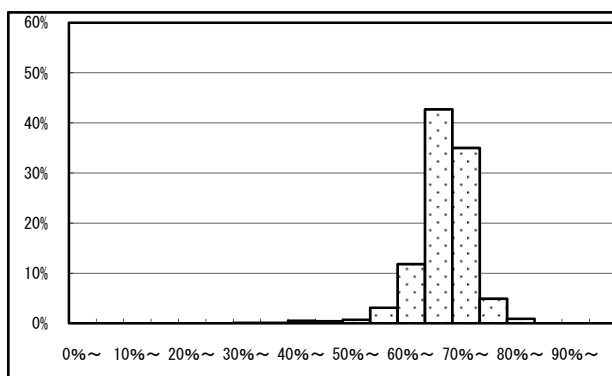
[国語A]

教育委員会数	教育委員会の平均正答数	教育委員会の平均正答率		
	全国平均	全国平均	中央値	標準偏差
1,854	12.3 問 / 18 問	68.5%	69.1%	5.1

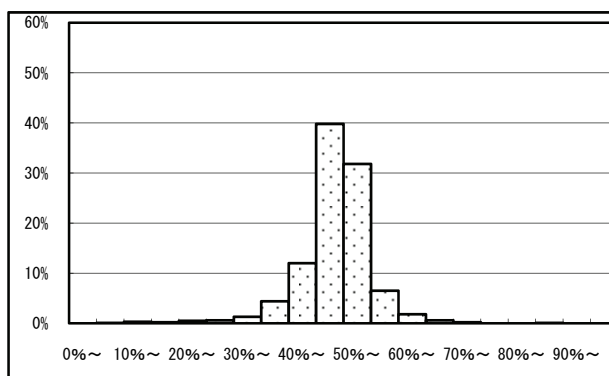
[国語B]

教育委員会数	教育委員会の平均正答数	教育委員会の平均正答率		
	全国平均	全国平均	中央値	標準偏差
1,854	4.8 問 / 10 問	48.4%	48.9%	6.6

正答率分布グラフ(横軸:平均正答率, 縦軸:教育委員会の割合)



正答率分布グラフ(横軸:平均正答率, 縦軸:教育委員会の割合)



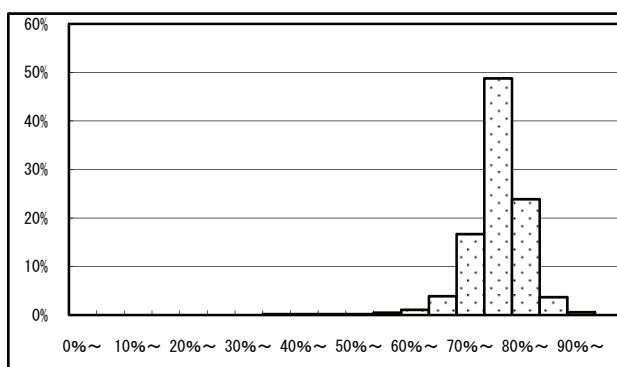
[算数A]

教育委員会数	教育委員会の平均正答数	教育委員会の平均正答率		
	全国平均	全国平均	中央値	標準偏差
1,854	13.9 問 / 18 問	77.4%	78.0%	5.6

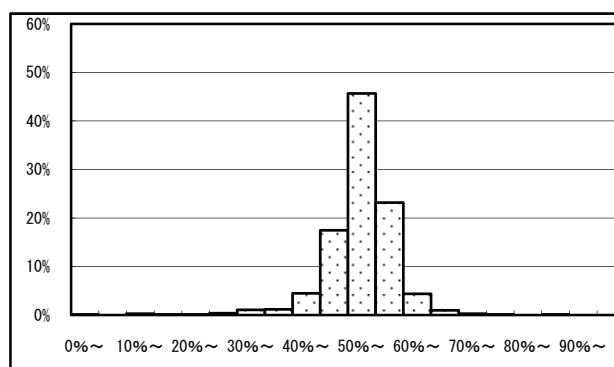
[算数B]

教育委員会数	教育委員会の平均正答数	教育委員会の平均正答率		
	全国平均	全国平均	中央値	標準偏差
1,854	7.3 問 / 14 問	52.4%	53.0%	6.3

正答率分布グラフ(横軸:平均正答率, 縦軸:教育委員会の割合)



正答率分布グラフ(横軸:平均正答率, 縦軸:教育委員会の割合)



(7) 学校の状況

○ 各学校の状況については、全国平均からの離れ具合を表す平均正答率の標準偏差を見ると、20年度同様、全体としてはそれほど大きなばらつきは見られない。

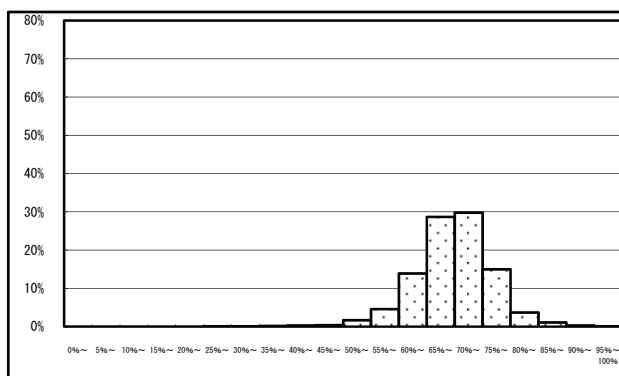
[国語A]

学校数	学校の平均正答数	学校の平均正答率		
	全国平均	全国平均	中央値	標準偏差
21,643校	12.5問 / 18問	69.6%	70.0%	7.1

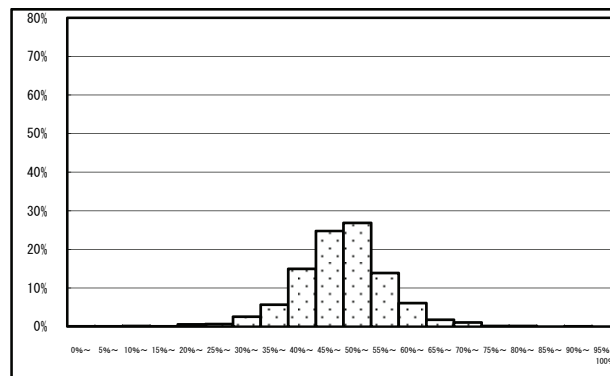
[国語B]

学校数	学校の平均正答数	学校の平均正答率		
	全国平均	全国平均	中央値	標準偏差
21,641校	5.0問 / 10問	50.1%	50.1%	8.6

正答率分布グラフ(横軸:学校の平均正答率, 縦軸:学校の割合)



正答率分布グラフ(横軸:学校の平均正答率, 縦軸:学校の割合)



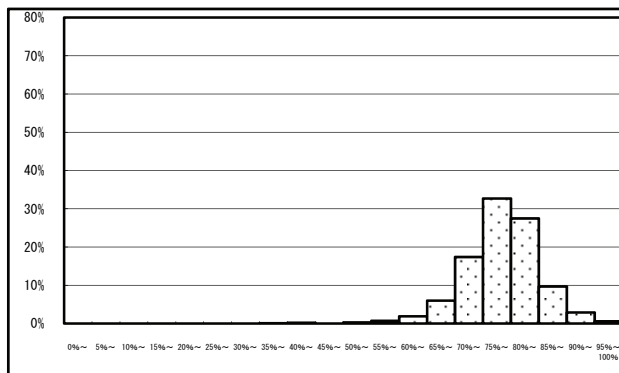
[算数A]

学校数	学校の平均正答数	学校の平均正答率		
	全国平均	全国平均	中央値	標準偏差
21,642校	14.1問 / 18問	78.6%	78.9%	7.1

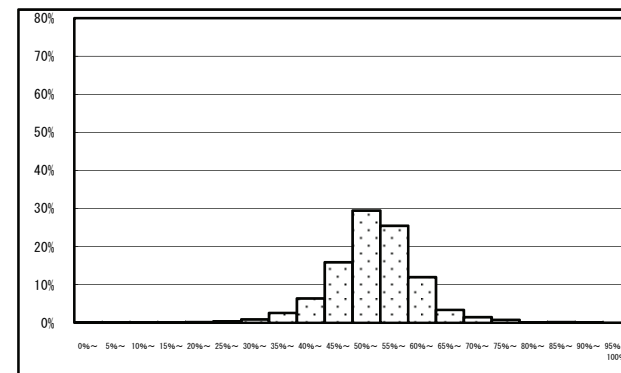
[算数B]

学校数	学校の平均正答数	学校の平均正答率		
	全国平均	全国平均	中央値	標準偏差
21,641校	7.6問 / 14問	54.1%	54.2%	8.5

正答率分布グラフ(横軸:学校の平均正答率, 縦軸:学校の割合)



正答率分布グラフ(横軸:学校の平均正答率, 縦軸:学校の割合)

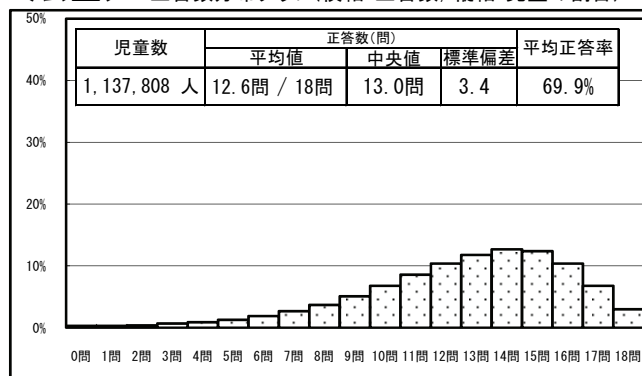


(8) 国・公・私立学校の状況

○ 国立・私立学校は一般的に入学者選抜を行っていることに留意する必要があるが、平均正答数についてみると、20年度同様、国立・私立学校は、公立学校を上回っている。

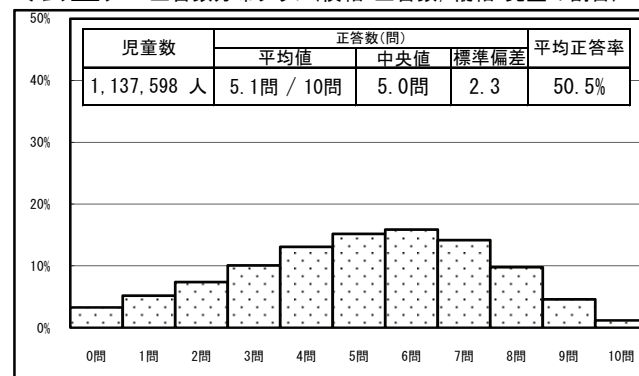
○国語A

＜公立＞ 正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:児童の割合)

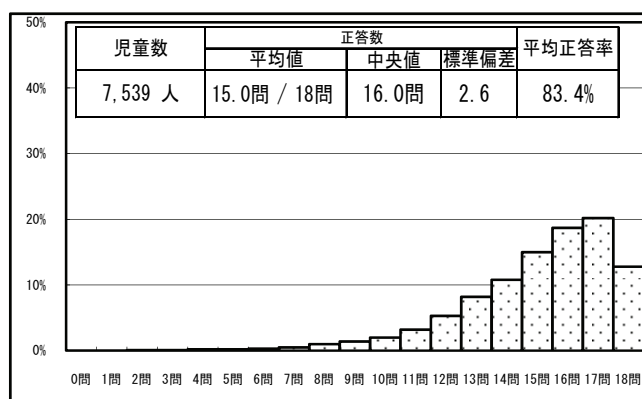


○国語B

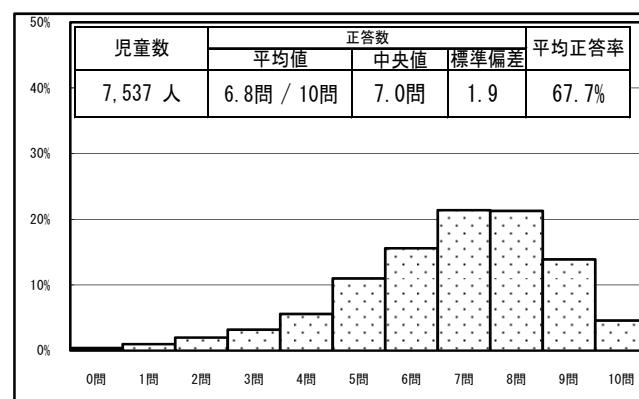
＜公立＞ 正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:児童の割合)



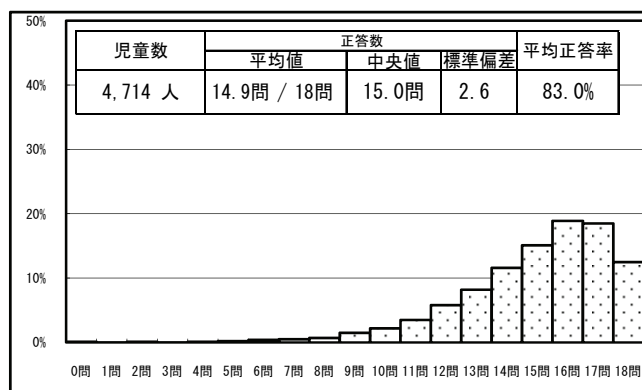
＜国立＞ 正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:児童の割合)



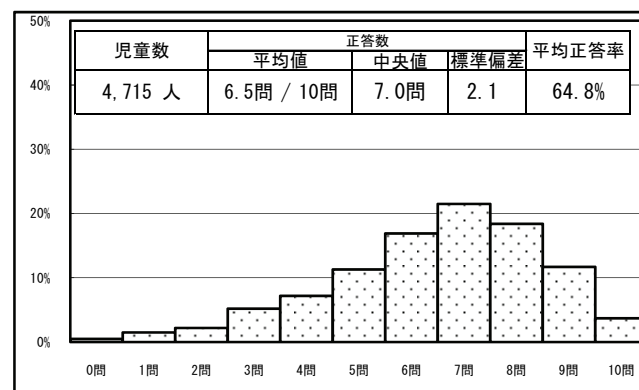
＜国立＞ 正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:児童の割合)



＜私立＞ 正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:児童の割合)

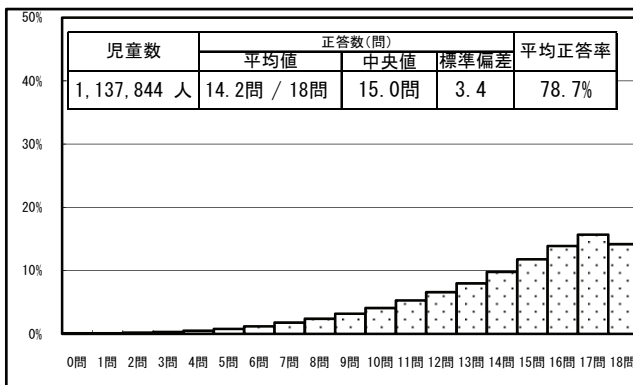


＜私立＞ 正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:児童の割合)



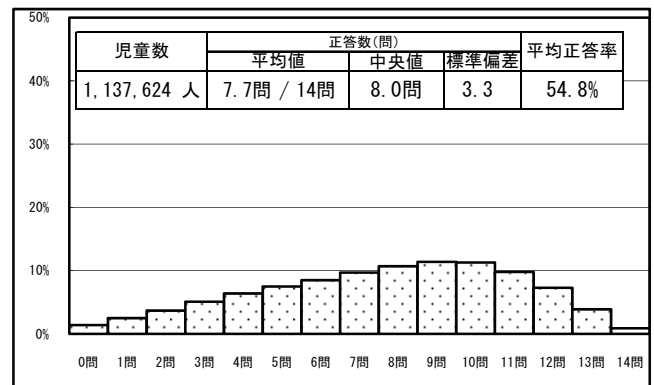
○算数A

<公立> 正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:児童の割合)

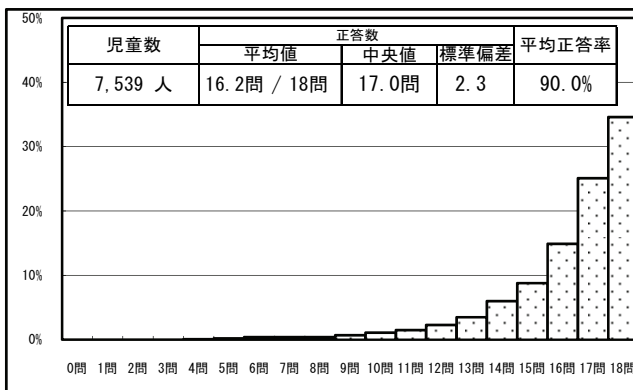


○算数B

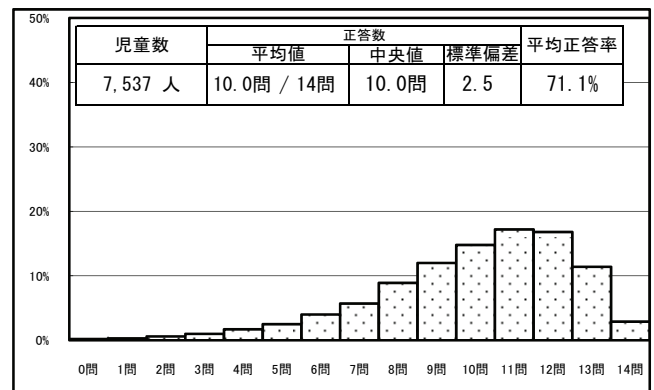
<公立> 正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:児童の割合)



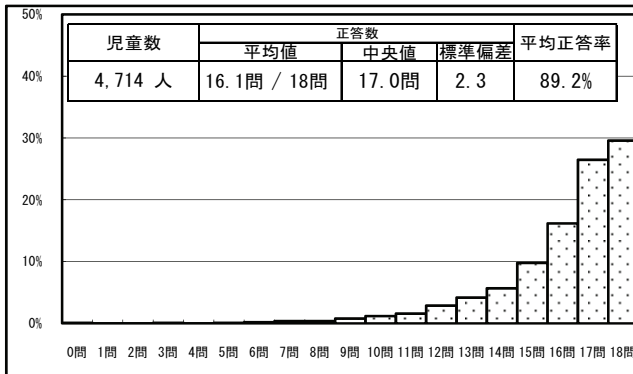
<国立> 正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:児童の割合)



<国立> 正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:児童の割合)



<私立> 正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:児童の割合)



<私立> 正答数分布グラフ(横軸:正答数, 縦軸:児童の割合)

